

霞城



第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス
https://www.mod.go.jp/gsdf/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html

第20普通科連隊 検索

KAJYŌ



ホームページは
こちらから!



隊区担当中隊



- 第2中隊
- 第1中隊
- 重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊



No.730



「派遣海賊対処行動支援隊 (第19次要員)連隊帰国行事」迄実施



「令和5年度連隊迫撃砲射撃野営」を実施

Contents

- 2 ページ
- 「派遣海賊対処行動支援隊(第19次要員)連隊帰国行事」を実施
 - 「令和5年度防衛大学校夏季定期訓練第3学年部隊実習」に協力
- 3 ページ
- 「令和5年度連隊迫撃砲射撃野営」を実施
 - 「転出者紹介行事」を実施
 - 暑さに負けず駆け上がり「新隊員若木山登山走」を実施
- 4 ページ
- 鶴岡市・上市市で車両展示「PCO 広報展」に協力
 - 「隊内生活体験」に協力
 - 隊員紹介コーナー
 - 定年退官者紹介
 - 各種表彰
 - 9月行事予定

2023
August
8

「派遣海賊対処行動支援隊 (第19次要員)連隊帰国行事」を実施



出迎えに笑顔を見せる派遣隊員



労いの握手

7月31日(月)、神町駐屯地において、「派遣海賊対処行動支援隊(第19次要員)連隊帰国行事」を実施した。

連隊長(荒木一佐)は訓示において、「任務完了、無事帰国してくれてありがとう。本当に大変な環境の中で日本国民のために頑張ってくれた。しっかりと体を休めて家族と過ごす時間を作り、充電してもらいたい。また、派遣で得た経験知識を活かし、引き続き自衛隊の精強化のために尽力してもらいたい」と述べ、任務完了の功績を称えた。

また、警衛隊長(第3中隊長 丸山3佐)の挨拶が行われ、「連隊長をはじめとして、数多くの皆様に」支援頂き本当にありがとうと感謝の言葉を述べた。



相互に敬礼

心の支えになりました。今後は心身のメンテナンスをして、いち早く隊務に復帰できるよう頑張っていきます」と感謝を述べた。

派遣隊員は久しぶりの同僚との会話に安堵の表情を見せつつ、国際任務に従事し、任務を完了した達成感で満ち溢れていた。

連隊は帰国行事を通じ、派遣隊員の派遣先での任務完了と無事の帰国を慰労するとともに連隊全隊員の団結を強化することができた。



帰国の挨拶をする丸山3佐

「令和5年度防衛大学校夏季定期訓練第3学年部隊実習」に協力



ロープ訓練



西訓練場にて戦闘行動を実習



連隊長精神教育を受ける防大生

7月3日(月)から21日(金)までの間、神町駐屯地において、第3中隊副中隊長(森一尉)が担任官となり、「令和5年度防衛大学校夏季定期訓練第3学年部隊実習」に協力した。

防衛大学校からは、男性8名、女性3名、計11名の学生が参加し、格闘訓練、武器訓練(機関銃)、徒步行進に引き続き戦闘行動、レンジャータを使用したロープ訓練等を行った。

着隊当初、学生たちは初めての部隊に緊張した表情を浮かべていたが、実習が始まると真剣な眼差しで各種訓練に臨んでいた。積極的に質問をして理解を深めようとする一生懸命な姿からは、未来の幹部自衛官としての資質が感じられた。

また、幹部自衛官になれば経験する機会が少ない営内生活を体験し、曹士の隊員との会話で盛り上がるなど、和やかな雰囲気の中で充実感ある営内生活を過ごすとともに、営内における規律の維持の大切さなどを感じ取っていた。

学生たちは部隊実習を通して、幹部自衛官の地位・役割及び部隊の実情を体験し、必要な知識・技能を向上させた。

「令和5年度連隊迫撃砲射撃野営」を実施



照準をあわせる砲手



弾薬を渡す砲手

7月17日(月)から21日(金)、白河布引山演習場(福島県)において「令和5年度連隊迫撃砲射撃野営」を実施した。本射撃野営は、各中隊が81ミリ迫撃砲の練成射撃を行い、射撃練度の向上を図ることを目的として実施した。

実弾射撃は、7月19日(水)、20日(木)に行われ、射撃実施中隊、射撃勤務中隊を各中隊のローテーション方式により実施し、各中隊はそれぞれの中隊の射撃要領を確認し、情報の共有を行うとともに安全管理の徹底を図っていた。

近年は気象条件、諸制約を克服した練成成果を發揮し、天候急変等を打ち払うがごとく全隊員が汗だくになりながら射撃指揮、射撃分隊、観測が連携し、命中弾を出すなど精度の高い火力を發揮して、射撃練度の向上を図ることができた。



号令に合わせて観

暑さに負けず駆け上がり 「新隊員若木山登山走」を実施



上りで余裕の笑顔の新隊員

8月2日(水)、神町駐屯地及び若木山周辺において「令和5年度新隊員特設技課程・一般陸曹候補生課程(後期)若木山登山走」が行われた。本訓練は、新隊員たちの団結の強化・士気の高揚及び体力の更なる向上を図るとともに、東根市、神町地区への郷土愛の醸成を目的として駐屯地を発着点に若木山頂上を折り返す、約5kmのコースで実施された。

当日は高温多湿の中での登山走となったが、給水地点や過度の体温上昇を防ぐため水浴びをする地点を設け熱中症対策などの安全対策を万全にし実施した。

新隊員たちは若木山の急勾配な登山道を、暑さに負けることなく、お互いに励ましあいながら、力強い走りで行き止まりまで駆け上がり、新隊員らしい若く活気溢れる姿をみせた。



安全に気を付けて下山する様子

令和5年度(前期)

転出者(幹部:2名 曹士:27名)

| 中隊 | 氏名 | 階級 | 転出先 |
|--------|-----|----|----------|
| 連隊本部 | 荒木 | 1佐 | 神町駐屯地内異動 |
| 同 | 吉村 | 1尉 | 日原駐屯地 |
| 本部管理中隊 | 佐々木 | 曹長 | 富士駐屯地 |
| 同 | 萬年 | 2曹 | 遠軽駐屯地 |
| 同 | 二瓶 | 3曹 | 帯広駐屯地 |
| 同 | 工藤 | 3曹 | 市ヶ谷駐屯地 |
| 同 | 生田 | 3曹 | 滝ヶ原駐屯地 |
| 同 | 三木 | 3曹 | 旭川駐屯地 |
| 同 | 山田 | 3曹 | 神町駐屯地内異動 |
| 第1中隊 | 青藤 | 3曹 | 網走駐屯地 |
| 同 | 佐藤 | 3曹 | 美幌駐屯地 |
| 同 | 海谷 | 3曹 | 滝川駐屯地 |
| 同 | 井上 | 2曹 | 神町駐屯地内異動 |
| 第2中隊 | 高橋 | 1曹 | 武山駐屯地 |
| 同 | 斎藤 | 3曹 | 東千歳駐屯地 |
| 同 | 竹田 | 3曹 | 遠軽駐屯地 |
| 第3中隊 | 赤根 | 2曹 | 与那国駐屯地 |
| 同 | 大沼 | 3曹 | 函館駐屯地 |
| 同 | 工藤 | 3曹 | 東千歳駐屯地 |
| 同 | 成澤 | 3曹 | 留萌駐屯地 |
| 同 | 堀越 | 3曹 | 市ヶ谷駐屯地 |
| 同 | 藤田 | 3曹 | 習志野駐屯地 |
| 第4中隊 | 渡部 | 2曹 | 東千歳駐屯地 |
| 同 | 市川 | 3曹 | 名寄駐屯地 |
| 同 | 川上 | 3曹 | 習志野駐屯地 |
| 同 | 橋本 | 3曹 | 神町駐屯地内異動 |
| 重迫撃砲中隊 | 石山 | 2曹 | 那覇駐屯地 |
| 同 | 小松 | 3曹 | 倶知安駐屯地 |
| 同 | 大内 | 士長 | 神町駐屯地内異動 |

連隊内異動

| 中隊 | 氏名 | 階級 | 前中隊 |
|---------|-----|----|--------|
| 連隊本部へ | 中嶋 | 1尉 | 第4中隊 |
| 同 | 伊藤 | 2尉 | 第2中隊 |
| 同 | 木村 | 2尉 | 第2中隊 |
| 本部管理中隊へ | 鈴木 | 3尉 | 第3中隊 |
| 同 | 永田 | 1曹 | 第1中隊 |
| 同 | 滝口 | 2曹 | 第1中隊 |
| 同 | 飯塚 | 2曹 | 第1中隊 |
| 同 | 笠原 | 2曹 | 第2中隊 |
| 同 | 布施 | 3曹 | 重迫撃砲中隊 |
| 同 | 新沼 | 3曹 | 重迫撃砲中隊 |
| 第2中隊へ | 長岡 | 2尉 | 連隊本部 |
| 同 | 桂川 | 2尉 | 連隊本部 |
| 同 | 星 | 曹長 | 本部管理中隊 |
| 第4中隊へ | 長谷川 | 2尉 | 本部管理中隊 |



転出者と相互に敬礼



激励される転出者



送別と激励の固い握手

7月26日(水)神町駐屯地において令和5年度前期定期異動に伴う「転出者紹介行事」が行われ、転出者を代表して第3科運用訓練幹部(吉村1尉)が「霞城連隊魂をもって各勤務地で任務にまい進します。連隊で育てていただいたことに感謝し、また連隊に戻ってきた際は、さらなる精進に貢献できるように頑張ります」と挨拶した。

また、連隊長(荒木1佐)は、「それぞれの勤務の期間、任務の貢献に心より感謝します。この部隊で培った知識、技能、経験を糧に新しい部隊において部隊のさらなる精進に貢献してもらいたい。今後ますますの活躍を期待する」と送別の言葉を贈った。

引き続き見送りが行われ、転出者は同僚たちと言葉を交わし、別れを惜しみつつも、決意新たに20連隊を後にした。

「転出者紹介行事」を実施



新天地での活躍を祈念して万歳三唱

「広報展」に協力



かみのやま夏まつり

7月22日(土)及び7月29日(土)の両日、鶴岡市、上山市で自衛隊山形地方協力本部が実施する広報展にそれぞれ車両展示をもって協力した。(別表)
イベント当日は、多くの来場者が訪れ会場は賑わいを見せた。協力した隊員たちは、記念撮影の依頼に快く応じ、寄せられた質問に対し洗練と受け答えを行うなど、来場者を楽しませた。
連隊は、広報展協力を通じ、地域住民等の自衛隊の活動に対する理解の促進と親近感の醸成を図ることができた。

| 実施日 | イベント名 | 協力人員 | 車両展示内容 |
|----------|----------------|-----------------------|--------|
| 7月22日(土) | ぎんぎ夏まつり(鶴岡市) | 重迫撃砲中隊2名 | 軽装甲機動車 |
| 7月29日(土) | かみのやま夏まつり(上山市) | 第3中隊 2名 3号トラック・炊事車 | |

9月行事予定

- 10日(日)・山形県・天童市合同総合防災訓練
- 15日(金)・大高根青年修養道場記念碑建立53周年記念祭
- 17日(日)・日本一の芋煮会(車両展示)
・谷地どんがまつり(銃剣道奉納試合)
- 30日(土)・山形県自衛隊殉職隊員追悼式

各種表彰

- 【令和5年度前期東北方面總監表彰】
○第3級賞状(隊務総合による表彰)
・第20普通科連隊
- 【令和5年度前期第6師団長表彰】
○第3級賞状(隊務総合による表彰)
・第20普通科連隊
- 【師団長表彰】
○第3級賞状(業務改善による功績)
・連隊本部 吉村1尉
- 【連隊長表彰】
○第4級賞状(職務遂行による功績)
・連隊本部 長南2尉
・本部管理中隊 佐々木曹長
・同 萬年2曹
・同 二瓶3曹
・同 生田3曹
・第1中隊 星川3曹
・第2中隊 笠原2曹
・第3中隊 大沼3曹
・第4中隊 布川3曹
・同 鈴木3曹
・同 川上3曹
・重迫撃砲中隊 小松3曹
(業務改善による功績)
・連隊本部 桂川2尉
・本部管理中隊 星曹長
・同 菊地曹長
・第1中隊 齋藤(悠)2曹
・同 海谷2曹
・第3中隊 成澤曹長
・第4中隊 渡部2曹
・重迫撃砲中隊 鈴木1曹
(車両無事故走行5万キロメートルによる功績)
・本部管理中隊 深瀬2曹
・同 山崎3曹
・第1中隊 佐藤(徹)2曹
・第2中隊 武田3曹
・第4中隊 大沼1曹
- 第5級賞状(業務改善による功績)
・第3中隊 堀越3曹

「隊内生活体験」に協力



行進訓練の様子

7月18日(火)から20日(木)までの間、神町駐屯地において駐屯地広報班が実施する「隊内生活体験」に協力した。
隊内生活体験には、NTTグループから16名(男性14名、女性2名)が参加し、第2中隊(中隊長 佐藤3佐)坂本3尉以下15名が担任した。
参加者は、基本教練、行進訓練及び各個の戦闘訓練などの体験を通じ、企業からの要望である規律心、団結心及びリーダーシップの涵養を図った。特に19日に行われた行進訓練(約13km)では、災害派遣を想定し、救援物資の搬送の任務が与えられた。班全員で協力し、救援物資に模した10kgを超える背のうを最後まで運搬して、任務を完了した。
梅雨時の蒸し暑い天気の中、本体験は2泊3日で行われ、自衛隊の日課時間に従い、規則正しい生活及び厳しい訓練を体験し、多くの教訓を得た参加者の表情は一樣に暗れやかであった。また、参加者の所見には、「自分達の企業が担う、災害時の回線等の復旧工事等における担当地域の為に出来る事、自衛隊が担う、国民の為に働く事、同じ災害の分野の中で、それぞれが担うものは違っても、人を助けたい気持ちは同じで、この心を動かす衝動の熱い思いを持って臨みたいと思います。」と新社会人の意気込みや自衛隊への感謝がこぼれ出た。
連隊は本協力を通じ、自衛隊に対する理解の促進と親近感の醸成を図ることができた。

定年退官者紹介

永年の勤務、お疲れ様でした。



・連隊本部
・竹内 3佐
・8月5日付



・本部管理中隊
・安達 准尉
・8月13日付



・重迫撃砲中隊
・今野 准尉
・8月11日付

隊員紹介コーナー

広報室よりお知らせ

令和5年前期定期異動により山田3曹が異動となり、新たに第3中隊より布施3曹が広報室に上番しました。



○新広報室 布施3曹
・出身 山形県河北町
・趣味 釣り、ウイスキー
・モットー 「撃たれる前に撃る！」

挨拶 連隊の皆様お疲れ様です。この度、広報室に上番することになりました布施3曹です。連隊のPR活動に貢献出来るよう精一杯頑張ります。また、皆様には協力して頂く事が多いとは思いますが宜しくお願いいたします。



ほふく前進を教わる体験者